

「北海道近現代史研究会」の活動状況について

2019年8月15日は「北海道命名150年」の節目に当たり、これを契機に蝦夷地・北海道史の探求への関心が道内でも高まっています。

こうしたなか、当研究所でも、2019年度より、北海道の近現代史に関する研究会を設置し、近世期以降の蝦夷地・北海道の地方自治および社会インフラの整備などに関する調査・研究に着手しました。

2019年度は、次年度以降の研究会としての活動のスタートに向けた準備期間と位置づけ、「北海道史研究プロジェクト」（主査＝押谷一・酪農学園大学教授）の仮称のもと、主に基本的な情報収集に取り組みました。

2020年度から研究会名を「北海道近現代史研究会」（2020～21年度主査＝押谷一・酪農学園大学教授、2022年度以降の主査＝竹中英泰・旭川市立大学名誉教授）と決定し、活動を本格化させるとともに、行政機構の変遷、アイヌ民族の近世・近代史、ロシアを中心とする諸外国との関係を基軸として、北海道の近現代史の多角的な視点に基づく調査・研究を進めてきました。

2024年度からは視点を変え、「産業史と自治体の形成史の関係」を中心に調査・研究を進めることとし、2024年度は炭鉱・石炭産業史に関する情報収集に努めました。

本研究会の2019～24年度の活動は以下のとおりです。なお、現地視察の視察先については、別紙の一覧をご覧ください。

【2019年度】

（１）旭川市内の史跡・文化施設等の視察

- 日 時 2019年7月15日（月）
- 訪問地 旭川市
- ガイド 竹中英泰（旭川大学名誉教授）
- 参加者 押谷 一（酪農学園大学教授）
杉谷光一（当研究所常務理事）
正木浩司（当研究所研究員）

（２）第1回学習会

- 日 時 2019年7月29日（月）15:00～17:00
- 会 場 北海道自治労会館 3階 役員会議室

○ 内 容

講演「北海道150年と地方自治－医師で開拓者（陸別）・関寛斎の足跡を辿ってみえること」

講師：竹中英泰 氏（旭川大学名誉教授）

○ 記録等 所報2019年9月号（第608号）に掲載

－ 竹中英泰「関寛斎の足跡から見える明治の北海道」

（３） 第2回学習会

○ 日 時 2019年8月3日（土）15:00～17:00

○ 会 場 北海道自治労会館 5階 第3会議室

○ 内 容

講演「アイヌ文化と北海道」

講師：本田優子 氏（札幌大学教授）

○ 記録等 所報2020年1月号（第612号）に掲載

－ 本田優子「アイヌ文化と北海道」

（４） 小樽市内の史跡・文化施設等の視察

○ 日 時 2019年9月18日（水）

○ 訪問地 小樽市

○ ガイド 三輪修彪（北海道労働文化協会理事／元当研究所専務理事）

○ 参加者 竹中英泰（旭川大学名誉教授）

杉谷光一（当研究所常務理事）

正木浩司（当研究所研究員）

（５） 第3回学習会

○ 日 時 2019年10月11日（金）15:30～17:30

○ 会 場 北海道自治労会館 3階 第1会議室

○ 内 容

講演「北海道150年の光と影～「開拓」と“地方自治”をめぐって」

講師：谷本晃久 氏（北海道大学大学院教授）

○ 記録等 所報2020年3月号（第614号）に掲載

－ 谷本晃久「北海道150年の光と影－「開拓」と「地方自治」をめぐって」

（６） 札幌村郷土記念館の視察・ヒアリング

○ 日 時 2019年11月20日（水）14:00～15:00

○ 会 場 札幌村郷土記念館（札幌市東区） 1階ロビー

○ テーマ 札幌村郷土記念館の設立経緯、展示物の概要、運営体制・事業の現状

○ 対応者 玉井晶子 氏（札幌村郷土記念館保存会 事務局長）

山田治仁 氏（札幌村郷土記念館 館長）

- 記録等 所報2020年5月号（第616号）に掲載
 - － 正木浩司「大友亀太郎の事績と札幌村の生活史を伝える－「札幌村郷土記念館」を訪ねて」

【2020年度】

（１） 第４回学習会

- 日時 2020年7月17日（金）13:00～16:00
- 会場 旭川市まちなか市民プラザ 会議室1
- 内容
 - 講義「近世の蝦夷地における日露関係について
－ラクスマンおよびレザノフの来航を中心に」
 - 講師：竹中英泰 氏（旭川大学名誉教授／当研究所理事）
- 記録等 所報2020年9月号（第620号）に掲載
 - － 竹中英泰「近世期の蝦夷地における日ロ関係史について
－現代の北海道の地方自治との関わりを中心に」

（２） 第１回現地視察

- 日時 2020年8月5日（水）～8日（土）
- 訪問地 函館市、松前町、江差町、木古内町
- 参加者 押谷 一（酪農学園大学教授）
三輪修彪（北海道労働文化協会理事／元当研究所専務理事）
正木浩司（当研究所研究員）
- 記録等 所報2020年11月号（第622号）に掲載
 - － 正木浩司「北海道近現代史研究会・第１回現地視察レポート
－函館市・松前町・江差町を訪ねて」
 - － 三輪修彪「アイヌモシリの行方と松前」

（３） 北海道労働文化協会主催「第41回全道勤労者文学歴史探訪」への参加

- 日時 2020年9月26日（土）9:00～17:00
- テーマ さっぽろ文化遺産の再発見
- 訪問地 札幌市中央区・南区・東区
 - ※ 特別講演「札幌の文化財」（講師＝山川伸也・札幌市職員）
- 参加者 三輪修彪（北海道労働文化協会理事／元当研究所専務理事）
正木浩司（当研究所研究員）
- 記録等 所報2021年1月号（第624号）に掲載
 - － 正木浩司「文化遺産の視察を通じて札幌の近代史を学び直す
－「第41回全道勤労者文学歴史探訪」に参加して」

(4) 第5回学習会

- 日 時 2020年10月28日（水）15:00～17:10
- 会 場 北海道自治労会館 3階 役員会議室
- 内 容
講演「北海道開拓から開発へー産業資本の移植・形成からその特徴を考える」
講師：小田 清 氏（北海学園大学名誉教授）
- 記録等 所報2021年1月号（第624号）に掲載
－ 小田 清「北海道開拓から開発へー産業資本の移植・形成からその特徴を考える」

(5) 第2回現地視察

- 日 時 2020年11月5日（木）～7日（土）
- 訪問地 北見市、佐呂間町、美幌町、網走市
- ガイド 中川 功 氏（元留辺蘂町職員） － 北見市留辺蘂町地区のみ
- 参加者 押谷 一（酪農学園大学教授）
三輪修彪（北海道労働文化協会理事／元当研究所専務理事）
正木浩司（当研究所研究員）
- 記録等 所報2021年3月号（第626号）に掲載
－ 正木浩司「北海道近現代史研究会・第2回現地視察レポート
－北見市・佐呂間町・網走市を訪ねて」
－ 押谷 一「足尾鉍毒問題と北海道開拓のため移住政策」

(6) 第6回学習会

- 日 時 2021年2月26日（金）15:00～17:00
- 会 場 北海道自治労会館 3階 役員会議室
- 内 容
講演「アイヌの景観史」
講師：瀬川拓郎 氏（札幌大学教授）
- 記録等 所報2021年5月号（第629号）に掲載
－ 瀬川拓郎「アイヌの景観史ー上川盆地の地形・生態系適応の歴史を例に」

【2021年度】

(1) 第3回現地視察

- 日 時 2021年10月13日（水）～16日（土）
- 訪問地 根室市、厚岸町、標茶町、釧路市、鶴居村
- 参加者 押谷 一（酪農学園大学教授）
三輪修彪（北海道労働文化協会理事／元当研究所専務理事）
正木浩司（当研究所研究員）

- 記録等 所報2022年3月号（第638号）に掲載
 - － 正木浩司「北海道近現代史研究会・第3回現地視察レポート
－根室市・厚岸町・標茶町・釧路市を訪ねて」

（２） 第7回学習会

- 日 時 2021年10月15日（金）16:00～18:00
 - ※ 上記第3回現地視察の実施期間中に釧路市内で開催。
- 会 場 釧路市生涯学習センターまなぼと 7階 学習室703
- 内 容
 - 講演「樺太での生活経験と全国樺太連盟の活動について」
 - 講師：岩崎守男 氏（元樺太連盟釧路支部長／元道議）
- 記録等 所報2022年3月号（第638号）に掲載
 - － 岩崎守男「樺太での生活経験と全国樺太連盟の活動について」

（３） 第4回現地視察

- 日 時 2021年10月29日（金）
- 訪問地 石狩市、当別町、月形町、浦臼町、奈井江町、三笠市
- 参加者 押谷 一（酪農学園大学教授）
 - 三輪修彪（北海道労働文化協会理事／元当研究所専務理事）
 - 正木浩司（当研究所研究員）
- 記録等 所報2022年9月号（第644号）に掲載
 - － 正木浩司「北海道近現代史研究会・第4回現地視察レポート
－石狩北部・中空知・南空知を訪ねて」

（４） 北海道労働文化協会主催「第42回全道勤労者文学歴史探訪」への参加

- 日 時 2021年10月30日（土）9:00～17:00
- テーマ さっぽろ開拓の歴史をたどる
- 訪問地 札幌市西区・手稲区
 - ※ 特別講演「札幌の屯田兵」（講師＝山川伸也・札幌市職員）
- 参加者 押谷 一（酪農学園大学教授）
 - 三輪修彪（北海道労働文化協会理事／元当研究所専務理事）
 - 正木浩司（当研究所研究員）
- 記録等 所報2022年1月号（第636号）に掲載
 - － 正木浩司「札幌開拓の残照を西区・手稲区に辿る
－「第42回全道勤労者文学歴史探訪」に参加して」

（５） 紋別市の現地視察

- 日 時 2021年12月26日（日）
 - ※ 外国人共生研究会の紋別市視察（12月27日）に合わせて実施。
- 訪問地 紋別市

- 参加者 正木浩司（当研究所研究員）

【2022年度】

（１） 岩崎守男氏所蔵の資料の扱いに関する会議

- 日 時 2022年4月5日（火）13:00～15:00
- 会 場 北海道自治労会館 3階 役員会議室
- 出席者 岩崎守男 氏（元道議）
舟山廣治 氏（元道議）
竹中英泰（旭川大学名誉教授）
押谷 一（酪農学園大学名誉教授）
三輪修彪（北海道労働文化協会理事／元当研究所専務理事）
正木浩司（当研究所研究員）
- 内 容
 - ・ 課題提起「北海道近現代史における強制労働関係資料の調査について」
提起者：岩崎守男 氏（元北海道議会議員）
 - ・ 出席者の意見交換

（２） 第5回現地視察

- 日 時 2022年7月1日（金）
- 訪問地 江別市
- 参加者 竹中英泰（旭川大学名誉教授）
押谷 一（酪農学園大学名誉教授）
三輪修彪（北海道労働文化協会理事／元当研究所専務理事）
正木浩司（当研究所研究員）
- 記録等 所報2023年1月号（第648号）に掲載
 - － 正木浩司「北海道近現代史研究会・第5回現地視察レポート
－江別市を訪ねて」

（３） 北海道立文学館・企画展の観覧

- 日 時 2022年7月22日（金）
- 訪問地 札幌市中央区
- 内 容 企画展「地図と文学の素敵な関係」
- 参加者 正木浩司（当研究所研究員）

（４） 第8回学習会

- 日 時 2022年12月7日（水）15:00～17:00
- 会 場 北海道自治労会館 3階 役員会議室

○ 内 容

講演「北方領土返還運動交渉史について－根室市の視点から」

講師：本田良一 氏（北海道新聞社編集局編集委員）

○ 記録等

所報2023年3月号（第650号）に掲載

－ 本田良一「北方領土返還運動の歴史と今後の展望－根室の視点から」

（５） 第6回現地視察

○ 日 時 2022年12月9日（金）～11日（日）

○ 訪問地 伊達市、室蘭市、登別市、白老町、苫小牧市

○ 参加者 竹中英泰（旭川大学名誉教授）

押谷 一（酪農学園大学名誉教授）

三輪修彪（北海道労働文化協会理事／元当研究所専務理事）

正木浩司（当研究所研究員）

○ 記録等

所報2023年7月号（第654号）に掲載

－ 正木浩司「北海道近現代史研究会・第6回現地視察レポート
－胆振5市町を訪ねて」

（６） 第3回現地視察・補足視察

○ 日 時 2023年2月18日（土）

○ 訪問地 釧路市

○ ガイド 岩崎守男 氏（元道議）

○ 参加者 正木浩司（当研究所研究員）

○ 記録等

所報2023年11月号（第658号）に掲載

－ 正木浩司「北海道近現代史研究会・第3回現地視察補足レポート
－釧路市を再訪して」

（７） 第9回学習会

○ 日 時 2023年3月27日（月）15:00～17:00

○ 会 場 北海道自治労会館 4階 第5会議室

○ 内 容

講演「北海道の地理的条件と地政学」

講師：押谷 一 氏（酪農学園大学名誉教授）

○ 記録等

所報2023年7月号（第654号）に掲載

－ 押谷 一「地理学・地政学から見た北海道」

【2023年度】

（１） 第6回現地視察・補足視察①

○ 日 時 2023年5月19日（金）

- 訪問先 北海道大学植物園／札幌市中央区
- 参加者 正木浩司（当研究所研究員）
- 記録等 2022年度－（５）参照

（２） 第７回現地視察

- 日 時 2023年５月26日（金）～28日（日）
- 訪問地 新ひだか町、浦河町、様似町、えりも町、広尾町、大樹町、豊頃町
- 参加者 竹中英泰（旭川大学名誉教授）
押谷 一（酪農学園大学名誉教授）
三輪修彪（北海道労働文化協会理事／元当研究所専務理事）
正木浩司（当研究所研究員）
- 記録等 所報2024年１月号（第660号）に前編、同年５月号（第664号）に後編を掲載
 - － 正木浩司「北海道近現代史研究会・第７回現地視察レポート（前編）－日高中東部４町を訪ねて」
 - － 正木浩司「北海道近現代史研究会・第７回現地視察レポート（後編）－十勝中南部３町を訪ねて」

（３） 第６回現地視察・補足視察②

- 日 時 2023年６月１日（木）～２日（金）
- 訪問地 伊達市、苫小牧市
- 参加者 正木浩司（当研究所研究員）
- 記録等 2022年度－（５）参照

（４） 第７回現地視察の補足視察

- 日 時 2023年６月13日（火）
- 視察先 札幌村郷土記念館（札幌市東区）
- テーマ 第７回現地視察を踏まえての札幌村郷土記念館の展示物・活動の確認
- 対応者 玉井晶子 氏（札幌村郷土記念館保存会 事務局長）
山田治仁 氏（札幌村郷土記念館 館長）
- 参加者 正木浩司（当研究所研究員）
- 記録等 2023年度－（２）参照

（５） 第８回現地視察

- 日 時 2023年９月14日（木）～17日（日）
- 訪問地 増毛町、留萌市、小平町、苫前町、羽幌町、天塩町、豊富町、稚内市
- 参加者 竹中英泰（旭川市立大学名誉教授）
押谷 一（酪農学園大学名誉教授）
三輪修彪（北海道労働文化協会理事／元当研究所専務理事）
正木浩司（当研究所研究員）

- 記録等 所報2024年9月号（第668号）に前編、同年11月号（第670号）に後編を掲載
 - － 正木浩司「北海道近現代史研究会・第8回現地視察レポート（前編）－留萌5市町を訪ねて」
 - － 正木浩司「北海道近現代史研究会・第8回現地視察レポート（後編）－稚内市を訪ねて」

（6） 第10回学習会

- 日 時 2023年9月27日（水）15:00～17:00
- 会 場 北海道自治労会館 4階 第5会議室
- 内 容
 - 講演「屯田兵制度から見た近現代の北海道」
 - 講師：竹中英泰 氏（旭川市立大学名誉教授）
- 記録等 所報2024年3月号（第662号）に掲載
 - － 竹中英泰「屯田兵制度から見た近現代の北海道」

（7） 北海道労働文化協会主催「第44回全道勤労者文学歴史探訪」への参加

- 日 時 2023年10月13日（土）～14日（日）
- テーマ 北の大地のグルメと文学・美術・開拓の歴史を訪ねて
 - －十勝・帯広の群像をめぐる
- 訪問地 中札内村、帯広市、音更町、鹿追町
- 参加者 三輪修彪（北海道労働文化協会理事／元当研究所専務理事）
正木浩司（当研究所研究員）
- 記録等 2023年度－（2）参照

（8） 北海道博物館の視察

- 日 時 2024年3月15日（金）
- 訪問先 北海道博物館（札幌市厚別区）
- ガイド 舟山直治 氏（北海道博物館学芸員）
- 参加者 竹中英泰（旭川市立大学名誉教授）
押谷 一（酪農学園大学名誉教授）
三輪修彪（北海道労働文化協会理事／元当研究所専務理事）
正木浩司（当研究所研究員）

【2024年度】

（1） NPO法人炭鉱の記憶推進事業団訪問・ヒアリング

- 日 時 2024年6月20日（木）10:30～12:00
- 訪問先 そらち炭鉱の記憶マネジメントセンター（岩見沢市）
- テーマ 全道および空知地方の炭鉱・石炭産業史に関する基本情報の収集

- 対応者 平野義文 氏（理事長）
北口博美 氏（理事／事務局長）
- 参加者 押谷 一（酪農学園大学名誉教授）
正木浩司（当研究所研究員）

（２） 第９回現地視察

- 日 時 2024年 7 月 1 日（月）および 7 月 15 日（月）
- 訪問地 旭川市
- ガイド 竹中英泰（旭川市立大学名誉教授）－ 1 日のみ
- 参加者 三輪修彪（北海道労働文化協会理事／元当研究所専務理事）－ 1 日のみ
正木浩司（当研究所研究員）
- 記録等 2025年度中に所報にレポートを掲載予定

（３） 第11回学習会

- 日 時 2024年 8 月 30 日（金） 15:00～17:00
- 会 場 道立道民活動センター（かでる 2・7） 6 階 会議室620
- 内 容
講演「日本遺産「炭鉄港」を通して考える《石炭産業の栄枯盛衰》」
講師：平野義文 氏（NPO法人炭鉱の記憶推進事業団理事長）
- 記録等 所報2025年 1 月号（第672号）に掲載
－ 平野義文「日本遺産「炭鉄港」を通して考える石炭産業の栄枯盛衰」

（４） 第８回現地視察・補足視察

- 日 時 2024年 9 月 23 日（月）
- 訪問先 間宮林蔵記念館／茨城県つくばみらい市
- 参加者 正木浩司（当研究所研究員）
- 記録等 2023年度－（５）参照

※ 講師等の所属・役職名は研究会開催当時のものです。

以上